

医療機器など 116 製品にアスベスト



厚生労働省は 2006 年 2 月 8 日、医薬品・医療部外品・化粧品・医療機器のアスベスト(石綿)含有について調査した結果、過去に 69 社が製造販売した計 116 製品に石綿が含まれていましたが、現在はその全てについて製造販売が中止されていると発表しました。

この調査は関連する 19 の業界団体や都道府県を通じ、全製造販売業者を対象に調査を実施したもので、2005 年 12 月に「過去に 69 社が製造販売した計 115 製品にアスベストが含まれている」という発表がありましたが、今回新たに 1 製品「コニカ・レーザーイメージャー DRYPRO model722」が増えました。

今回の発表では以下の情報などが寄せられたとしています。

1. 前回廃棄時の放出可能性が不明だったイスクラ産業(株)製造販売の滋養強壮剤・至宝三鞭丸には放出可能性がなかった
2. 前回、アスベストを使用しているとしていたコニカミノルタテクノプロダクト(株)製造販売のコニカ X-レイ自動現像機のうち、4 機種にはアスベストが使用されていなかった
3. コニカミノルタテクノプロダクト(株)製造販売のコニカ X-レイ自動現像機のうち 5 機種と、画像診断用イメージャー「コニカ・レーザーイメージャー DRYPRO model722」には新たにアスベスト使用が判明したが石綿放出の可能性はない
4. ヒルソン・デック(株)製造販売の DS-100、ヒートクレーブのアスベスト使用部位が訂正された

なお 116 製品のうち、通常の使用で石綿が放出する可能性があるのは、前回報告された 2 社の歯科用包帯剤 2 製品と 2 社の歯科用鑄造機 2 製品のみです。残りの医薬品 4 社 4 製品(歯髄失活剤及び滋養強壮薬)、医療部外品 1 社 1 製品(殺虫剤)、医療機器 62 社 107 製品は通常使用時に石綿が放出する可能性がないと報告されています。

当社では、大気・建材等のアスベスト分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料:2006年2月8日付 EIC ネット

環境分析箇所 重田郁美